

- 映画・ビデオ鑑賞会
- 家庭教育サポーターステップアップ研修会
- シリーズ「市町村や学校の取組」：地域子ども教室
- 「いきいき県民カレッジ」と市民大学の連携
- 2月の推進センター事業（お知らせ）

県立生涯学習推進センター

県立生涯学習推進センター

村松町教育委員会

にいつ市民大学



● 映画・ビデオ鑑賞会 ～映画ボランティアに支えられて～

当推進センターでは、毎月1回、原則として第4日曜日に「映画・ビデオ鑑賞会」を行っています。上映する映画は、映画ボランティア（当紙No.41で紹介）の方が毎月のテーマを決め、センターが所有している16ミリフィルムやビデオの中から選定をしています。

今年度は下記の映画を上映（予定）しました。

4月	「ヒマラヤの赤い自転車」 (110人)
5月	「日本の姿シリーズ」から3作(47人)
6月	「盲導犬クイール」(アニメ) 「ラストから始まる」 (92人)
7月	「アニメ文学館」から3作 (85人)
8月	「ビルマの竖琴(アニメ)」 「字のないはがき(アニメ)」 (57人)
9月	「ふるさと」 (85人)

()内の数字は観客数

10月	「日本の姿シリーズ」, 「世界遺産」から各1作 (32人)
11月	「ホーム・スイートホーム」 (86人)
12月	「フランダースの犬(アニメ)」 (170人)
1月	「郡上一揆」 (190人)
2月	「セッチャン」「サインはストレート」
3月	「母をたずねて三千里(アニメ)」

上表からわかることは、映画の内容により観客数のばらつきが大きく、地域住民のニーズにあった映画であれば、足を運んでくれるということです。しかし、当鑑賞会は生涯学習の趣旨に添ったテーマを毎月設定して上映しており、有料の映画鑑賞会等のような集客を中心に考えた映画の選定は今後とも考えていません。それでも、一人でも多くの方に良質な感動を伝えたいという思いから、掲示ポスターが目立つように工夫をしたり、チラシを配付する場所を増やしたり、地方新聞に宣伝広告を毎月掲載するなどの広報活動を地道に行っています。12月に上映した「フランダースの犬」を鑑賞した方からいただいたコメントを最後に紹介します。

『子どもの頃、今日の場面を観て泣きました。今日も何年も経った今日も涙でした。クリスマスを控えた今日にふさわしい作品、ありがとうございました。』

● 家庭教育サポーターステップアップ研修会

受講対象は平成9年度から昨年度までに当センターで実施した家庭教育・子育て支援者を養成する研修修了者で現在活動をしている方と、担当行政職員です。今まで「点」で養成していた方を、「線」「面」へと広げ連携することにより、地域に根ざした活動が展開できることを目的とします。

初めにグループワークトレーニングを続けて2日間実施しました。自己開示をスタートに、コミュニケーションスキルを磨き、グループワークのプロセスを通して「気づき」の大切さを学びました。講義では新座市と貝塚市の子育てネットワーク代表者から先進的な取組を語っていただきました。さらに受講者同士の情報交換、産業カウンセラーを講師に招いてのグループワークと、10月から12月にかけて合計5日間の研修会となりました。

30名という限られた人数での実施でしたので、すぐに和気あいあいとした雰囲気の中、

休憩時間も惜しんで情報交換がなされ、終了時には受講者の手でメーリングリストが作成されました。研修後の連携・協力が期待されます。

市町村にはいろいろな支援機関があり、たくさんの方が関わっています。研修修了者がそういう方々と関わりながら、当事者のニーズを常に頭に置いて活動を展開してほしいと願っています。



ワークショップの様子

● シリーズ 「市町村や学校の取組」

「地域子ども教室推進事業について」～川内っ子倶楽部の活動～

村松町地域子ども教室推進実行委員会

今年度「地域子ども教室推進事業」の委託を受け、町の川内小学校区の小学生を対象として地域の住民の方たちと協力しあって、放課後を中心とした活動「川内っ子倶楽部」を開設し現在、活動を行っています。

【川内っ子倶楽部の活動】

川内小学校の児童の3割を超える39人が「川内っ子倶楽部」に登録し、小学校近くの集落センターを会場に週1回放課後と隔週の土曜日の午前に活動しています。

主な放課後の活動は、宿題とレクリエーション、卓球、トランプなどのゲームが中心です。土曜日は、ゲートボール教室、手品教室、お菓子作り教室などや夏には近所の川で魚を捕まえたりしています。

【子どもたちの様子】

子どもたちは、いつも元気三重〇です。参加の子どもは低学年が多く、元気な声で「ただいま!!」と言って集落センターの戸を開けて入ってきます。活動中も声がやむことが無く、時には騒ぎすぎて指導員やボランティアの方から注意されることもままあります。反面、放課後、会場に来るとすぐに、進んで机を出して宿題を始めます。なかには、ボランティアの人から問題を作ってもらおう子もいます。そ

んな勉強も活動も一生懸命な子どもたちです。

【地域の協力】

この活動は、地域の方たちの協力なしには実現できませんでした。指導員も快く引き受けてもらい、さらに、毎回ボランティアとして子どもたちの活動に協力してもらっています。なかには、子どもたちのために、快く自宅の卓球場を開放してくれたり、川で魚捕まえを行った時は、朝早くから場所の設営や川をせき止めたりと、多くの地域のボランティアの方の協力で進められています。



川での魚とり

「いきいき県民カレッジ」と市民大学の連携 ～にいつ市民大学～

当センター運営の県知事を学長とする「いきいき県民カレッジ」は県、市町村、大学等で実施する講座を九つの分野に体系化し、広く学習情報を県民の皆様へ提供しております。カレッジでは、受講した単位（1時間を1単位とする）数に応じて奨励証を交付しております。今回は、そのカレッジの奨励証交付の仕組みを利用して顕著な活動をしている新津市の市民大学についてご紹介いたします。

新津市では市民大学を、「ふる里学部」「生活教養学部」「国際学部」「情報学部」の4学部19講座で構成し、4月上旬に申込みを受け付け、12月にその修了式を行い、各講座70%以上の出席者に市民大学修了証書を交付し、「いきいき県民カレッジ」の単位も認定しております。各受講者はそれぞれの講座で、12月の修了式を目指し、熱心に学習しております。

（新津市民から当センターへの奨励証交付依頼の手紙）

前略

今年度は台風が多く発生し、夏の猛暑、中越大地震と大変な年でした。受講手帳をお送りしましたのでよろしくお願い致します。

新津市民大学講座に参加して10年目に500単位になりました。はじめは単位なんかあるの知らずにいました。参加しているうちに単位が加算され、じゃ「学長賞」まで頑張ってみよう、夢を持ち続けいろいろの講座に参加した結果500単位になりました。

有難うございました。よろしくお願いします。

草々

2004/12/24

新津市 ○○○○○



12月の修了式の様子

県内には新津市だけでなく、町や村をあげての奨励証交付式を実施している市町村があります。是非、各講座実施機関の皆様には生涯学習推進のためにも、「いきいき県民カレッジ」をご活用いただきたいと思います。

■■ 2月の推進センター事業（お知らせ） ■■

- 7日（月） 映画ボランティアの会
- 15日（火） 電話相談員業務連絡会
- 20日（日） 映画・ビデオ鑑賞会『セッちゃん』
『サインはストレート』

■新潟県生涯学習情報提供システム

「ラ・ラ・ネット」 <http://www.lalanet.gr.jp/>

■すこやかコール

TEL:025-283-1150 FAX:025-284-6019

■学習相談

TEL:025-284-6119 soudan@mail.lalanet.gr.jp

■新潟県体験活動等支援センター

TEL:025-284-6145 taiken@mail.lalanet.gr.jp